

分類番号

801

テーマ別調べ方ガイド



認知言語学

について調べる



★ 関連授業科目

英語学 I 講義

文学部

第1/3/5/7 セメスター

「Paste (はすて)」とは？

ぱっと分かって、すっと頭に入る、テーマ別調べ方ガイドです。みなさんの学習をサポートする、総合図書館ティーチング・アシスタント (TA) による作成です。レポート作成の際などにお役立てください

1. イントロダクション

1-1. 「認知言語学」とは？-裸足と素足はどう違う？-

認知言語学(Cognitive grammar)という言葉聞いたことがあるでしょうか。あまり耳慣れないという人も多くいらっしゃるかもしれません。「認知」って、一体何だろう。「言語学」というからには、その一分野なのだろうけど…。

ここでの「認知」とは、「私たち人間のものの捉え方」であるとされます。そして「認知言語学」とは、言葉の不思議を、人間のものの見方、感じ方、考え方から捉えていこうとする試みなのです。

「最近、村上春樹を読んでいるんだ」「トイレを流してください」「今夜は鍋にしよう」…etc. これらの表現をつかったり、聞いたりしたことはありませんか？いずれも普段の生活の中で、当たり前のように使われています。でも、よく考えてみれば、ちょっと奇妙なものの言い方ではないでしょうか。「村上春樹」は人の名前なのに「読むもの」？「トイレ」ではなく水を流すのでは？

これらの問いに対して、人の心の動き(=認知)とのかかわりから答えていこうとするのが「認知言語学」です。ちなみに、上の例は「メトニミー(換喩)」という概念で論じられています。どのように説明されているのか、ぜひ確かめてみてください。

代表的な研究者: George Lakoff, John R. Taylor, Adele E. Goldberg, Ronald W. Langacker, 大堀壽夫, 山梨正明, 靱山洋介など

関連分野: 生成文法、生成意味論、認知科学

1-2. 学習するにあたってのポイント

認知言語学には、いくつかの大きな枠組み、共有されている考え方が存在します。今まさに研究が進歩している分野で、初学者向けの書籍も豊富なので、まずは一冊、興味を持ってそうな本を開いてみてはいかがでしょうか。以下に挙げている文献に当たるもよし、または総合図書館 4F、請求番号”801.04”、“801.05”あたりの書棚をうろろして、ピンときた本を手にとってみてほしいと思います。

1-3. 一般向けに書かれた資料・読み物

■ [言語学の教室：哲学者と学ぶ認知言語学 / 西村義樹, 野矢茂樹著](#)

【書誌 ID=2004287569】[総合図-A 棟 3階 文庫・新書 089/GS/2220](#)

➤ 「昨日、財布に落ちられました」とはなぜ言えないの？

東京大学教授で哲学者の野矢茂樹(のやしげき)さんが認知言語学の「生徒」となり、「先生」(言語学者の西村義樹さん)と侃々諤々の議論を繰り広げます。哲学者の軽快かつ核心に迫る「つつこみ」が、読んでいて痛快。言語学の魅力だけでなく、哲学的な思考の仕方にも触れられる一冊です。新書なので、価格もお手頃です。(図書館にも所蔵されています)。

2. 学習用資料

2-1. 最初に読むべき資料：教科書・古典

■ [日本語表現で学ぶ入門からの認知言語学 / 靱山洋介著](#) 【書誌 ID=2004115411】

[総合図-A 棟 3/4階 学習用図書 801.04/MOM](#)

- 「裸眼」と「肉眼」はどう違う？

今まで全く認知言語学に触れたことのない人にも、その基本的な考え方・魅力を伝えるために書かれた一冊。内容・分量ともコンパクトにまとめられており、「裸眼/肉眼」の違いなど、身近な例を豊富に散りばめた解説が読めます。これを読んで、「もっと知りたい！」と思ったひとには次の本をお勧めします。

■ [認知言語学 / 大堀壽夫著](#) 【書誌 ID=2003544518】

[総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 801/OHO](#)

- 本格的な教科書

認知言語学の主要な考え方である「カテゴリー化」「プロトタイプ」「メタファー」などを分かりやすく、かつ詳細に伝えてくれます。著者によるウェブサイトでも、認知言語学に関する論文・著書等が紹介されています。http://phiz.c.u-tokyo.ac.jp/~tohori/index_researchj.html#top

■ [認知文法のエッセンス / ジョン・R.テイラー, 瀬戸賢一著](#) 【書誌 ID=2004076497】

[総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 801.5/TAY](#)

John. R. Taylor の *Cognitive grammar* (OUP, 2002) をベースとした認知言語学の入門書。日本語の例も多く紹介されています。

ここから先は、認知言語学の「古典」にあたる文献です。読むのが容易でないものもあるので、本格的に取り組みたい、という方にお勧めします。

■ [レトリックと人生 / G.レイコフ, M.ジョンソン著 ; 渡部昇一, 楠瀬淳三, 下谷和幸訳](#)

【書誌 ID=2002043457】[総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 801.6/RET](#)

■ [認知意味論：言語から見た人間の心 / ジョージ・レイコフ \[著\]](#) 【書誌 ID=2003037992】

[総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 801.04/LAK](#)

前者は、レイコフ、ジョンソンの共著で「メタファー」という概念を世に知らしめた高名な一冊。“MORE IS UP”「増える」ことは「上がる」ことである、“ARGUMENT IS WAR”「議論」することは「戦争」である等々、人間のものの考え方の枠組みとなる「概念メタファー」を示しました。後者は「認知言語学」を打ち立て、言語学以外の分野にも影響を与えた大著。

2-2. 最新情報が確認できる資料：主要雑誌・年鑑・Web ページ

認知言語学に興味を持ち、いざレポート、論文に取り組もうという際にご活用ください。

■ [日本語学](#) 【書誌 ID=3001076715】 [総合図書館](#)

明治書院から出されている専門誌。専門誌の中では比較的とつきやすく、テーマ別のファイルを使えば、レポートのテーマ決定の際に役立つかもしれません。

■ [日本認知言語学会論文集](#) 【書誌 ID=2004242835】

[外国図カウンター*](#) [801/1781](#)

日本認知言語学会から出版されている論文集。認知言語学についての学会発表を雑誌にまとめたもので、最新の研究に触れられます。DVD-ROM 版もあるので、電子データの入手も可能。

2-3. その他専門書・学術論文等で注目すべきもの

■ [思考する言語：「ことばの意味」から人間性に迫る / スティーブン・ピンカー著](#)

【書誌 ID=2004106658】[総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 801/PIN/1-3](#)

- 人間の「思考の仕組み」が見えてくる

発達心理学の専門家であるスティーブン・ピンカーの著作。言語と人間心理・社会との関係を、刺激のかつ多様なテーマに沿って論じています。上・中・下と三巻ありますが、個人的にはどれから読んでも面白いと思います。認知言語学に近いテーマでは、レイコフの唱えた「概念メタファー」への反論などがあります(第五章)。人間の思考の仕方を哲学的な概念をもとに論じる「第四章 世界認識の四つの方法——物質・空間・時間・因果」は、言語学専攻ならずとも一度は読んでほしい文章。「子どもの名前の流行の趨勢」「タブー語・ののしり言葉」など、とっつきやすいテーマも満載です。

3. レポート・論文執筆用資料

3-1. 二次資料類：検索サイト・書誌索引

■ [国立国語研究所データベース・データ集](http://www.ninjal.ac.jp/database/) (<http://www.ninjal.ac.jp/database/>)

国立国語研究所のHP上にある、データベースのリンク集。論文検索、コーパスなど、研究に役立つコンテンツが沢山掲載されています。

■ [日本語研究・日本語教育文献データベース](http://www.ninjal.ac.jp/database/bunken/) (<http://www.ninjal.ac.jp/database/bunken/>)

上述の国立国語研究所の文献データベース集の中で、特に日本語研究・日本語教育に関する文献のためのデータベース。論文を検索したいときに便利です。

■ [JapanKnowledge Lib ジャパンナレッジ『日本国語大辞典』『デジタル大辞泉』など](http://japanknowledge.com.remote.library.osaka-u.ac.jp/library/)

(<http://japanknowledge.com.remote.library.osaka-u.ac.jp/library/>)

阪大図書館のデータベースに含まれている、辞典・辞書の総合データベース。学生 ID があれば学外からでも利用可能です。特に「言語学」用というのではなく、信頼の置ける国語辞典の Web バージョンという位置づけです。レポート作成の際など、語句を適切に理解してから書きたいときは、これを利用すると良いでしょう。特に『日本国語大辞典』は、その語句の初出が分かって便利です。

3-2. レポート・論文の書き方、学び方、引用・参考文献の書き方

■ [よくわかる学びの技法 / 田中共子編](#) 【書誌 ID=2003675787】

[人図 377.15/TAN](#)

➤ 「研究はとても自由です」

学問の入り口に立つ若い人たちに向けて書かれた「やわらかアカデミズム・「わかる」シリーズ」の一冊。言語学を専攻している人・しようと思っている人に限らず、広く手に取ってほしい一冊。

「論文・レポートってそもそも何を書くの?」という疑問への回答から、英語論文の読み方、研究するおもしろさを綴ったエッセイまで、多彩な内容が含まれています。社会学・心理学・言語学などの研究者によって、専門的な知見を交えつつ、平易な表現で書かれています。

本文中で紹介している図書・雑誌について

図書名・雑誌名の後ろに「書誌 ID」(10桁の数字)の記載があるものは大阪大学で所蔵しています。この10桁の数字で大阪大学 OPAC(蔵書検索システム)が検索できます。

